

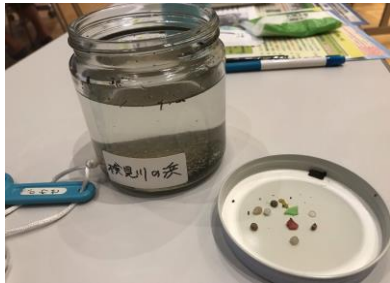





<p>企画名</p>	<p>環境に優しい暮らしを！～緑のカーテン 2021～</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子 我孫子市消費者の会 問合せ先 加藤マリ子 TEL: 04-7105-5292 Email:kato_mariko@jcom.zaq.ne.jp ホームページ: http://www.abikoshi-syouhisyanokai.net/wp/</p>
<p>目的</p>	<p>緑のカーテン作りを通して、地球温暖化に関心を持ってもらう。</p>
<p>日時</p>	<p>2021年5月9日(日) 14:00～16:00 我孫子北近隣センター 多目的ホール</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>我孫子市消費者の会 会長挨拶 (和田三千代) ① DVD「気候変動への挑戦」視聴 セクション2「温暖化の現状と将来予測」(11分) ② 緑のカーテン作りをプレゼンテーション (加藤マリ子) 育て方の手引き(A3版)も配布。 支柱の立て方、ネットの張り方、プランターの大きさを示すために実物で解説。 ③ 「今、手賀沼は」報告 (八鍬雅子さん) 特定外来水生植物(ナガエツルノゲイトウ、オオバナミズキンバイ)の繁茂と駆除、ハスの大群落の絶滅 ④ 緑のカーテンコンテストの案内 (深山恒男さん) ⑤ ゴーヤの苗の配付 ひとり2本配付のところを3本の配付。 フウセンカズラの種も希望者にプレゼント。</p>
<p>参加対象</p>	<p>一般</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 26名(大人25名、幼児1名) 会員スタッフ 17名(会員16名、講師1名)</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="159 1232 774 1556"> </div> <div data-bbox="798 1232 1428 1556"> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="159 1568 774 1904"> <p style="text-align: center;">緑のカーテンで さわやかに 温暖化防止を！</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 20%;">水分を葉の裏側から蒸散するので室内側が涼しい</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 20%;">熱を遮断</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 20%;">エアコンの省エネ効果=CO2削減</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 20%;">受けとめた熱を発散</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 20%;">CO2の吸収</div> </div> </div> <div data-bbox="798 1568 1428 1904"> <p style="text-align: center;">DVD「気象変動への挑戦」温暖化対策</p> <p style="text-align: center;">「今、手賀沼は」報告 質問に対応</p> </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>初めての緑のカーテン作り：マンションで支柱枠をどう立てるかが悩みだった。プランターでの栽培：この深いプランターをどこで購入できるのか知った。温暖化問題に関心があってきた。映像をYouTubeで見られることが分かって良かった。コンテストに入賞するコツは？～厚み、美しさ。はみ出たものは切る。パワーポイントが新しくなり、実物もあり、体験からの話でとても分かりやすかった。</p>

<p>企画名</p>	<p>春の生きもの探し</p>	
<p>実施団体</p>	<p>団体名 岡発戸・都部の谷津を愛する会 問合せ先 田島 友昭 TEL・FAX： 04-7188-8778</p>	
<p>目的</p>	<p>春の生きものを探し、谷津の自然を感じてほしい。</p>	
<p>日時</p>	<p>2021年5月29日（土）9:30～12:00 谷津作業小屋前集合</p>	
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>講師：柄澤保彦さん（元中学校教諭・永年多くの自然保護活動をされ、平成30年環境大臣賞を受賞される）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナ感染予防のため、集合時に全員の検温・手指消毒・マスク着用で出発。 ・ 早々、桑の木に赤黒い実を発見、実を口にした女性は「甘くなかった。残念」 ・ 竹やぶ前では、講師から「マダケのタケノコはおいしいよ」と。 ・ そして住宅地側を歩く。石の壁の水抜きに毒ヘビのママシが休んでいる。みなさんと静かにあまり近づかず、恐る恐る観察。（毎年同じ穴で発見します） ・ 歩き始めの桑の実を食べた女性に、モミジイチゴの橙黄色に熟した実を食べてもらおうと、「甘くておいしい、昔の子どもの頃を思い出した・・・」と。 ・ 小さな池で、池の中に仕掛けたモンドリに大きなウシガエルが2匹入っていて、講師からカエルの持ち方等の説明後、特定外来生物のため処分した。 ・ 林の中から飛び出したオオスズメバチ（女王バチ）を講師が捕虫網で捕獲。ケースに入れ、参加者に見てもらおうと「初めて近くで見て、怖い」と。 	
<p>参加対象</p>	<p>どなたでも（小学生以下は保護者同伴）</p>	
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 16名（大人13名、幼児3名） 会員スタッフ 6名（講師1名、会員5名）</p>	<p>計 22名</p>
 <p data-bbox="220 1751 464 1783">アマガエルの持ち方</p>	 <p data-bbox="646 1491 863 1523">大きなウシガエル</p>  <p data-bbox="628 1852 831 1883">ママシ 顔を出す</p>	 <p data-bbox="1082 1491 1294 1523">この葉をどうぞ！</p>  <p data-bbox="1059 1852 1321 1883">さあ、捕った。見て！</p>
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナが収まらない中、観察会を行うか迷いましたが、自然の中で少しでもコロナ禍を忘れ、楽しんで欲しいと思い開催しました。 ・ 本来は5月22日開催の計画でしたが、前日まで雨だったため5月29日に変更しました。そのため小学校の運動会と重なり、3組が不参加となりました。 ・ 今回も講師の楽しい説明と3つのビックリもあり、「谷津の楽しさとすばらしさをたくさん感じました。次回も参加したい。」との感想をもらい、無事終了しました。 	

企画名	かかし作り・かかし祭り	
実施団体	団体名 NPO 法人手賀沼トラスト 問合せ先 富澤 崇 TEL: 090-2234-5610 Email: info@teganuma-trust.jp ホームページ: http://teganuma-trust.jp	
目的	生態系保全型の冬水田んぼで作ったお米を守るかかしを作る。 かかし作りを通して、自然と共生する米作り・地域作りを身近に感じてもらう。	
日時	① かかし作り 7月10日(土) 8:30~12:00 7月24日(土) 8:30~12:00 (手賀沼トラスト会員) ② かかし祭り 8月21日(土) 9:30~11:30	
プログラム・概要・ルート等	7月10日の外部参加者のかかし作りには6組20名の参加者がかかしを作りました。手賀沼トラスト子ども部会の親子が準備・指導にあたり、手際よくかかしを作ることができて、子ども部会のかかしと一緒に田んぼに並べました。また、7月24日には、手賀沼トラストの大人部会がかかしを作りました。 8月21日のかかし祭りには13名の外部参加者と131名のトラスト会員が参加し、投票の結果、外部参加者、子ども部会、大人部会それぞれ2体が選ばれました。後日美味しい新米が贈呈されます。 生き物に詳しい自然観察指導員の渡辺さんから、冬水田んぼにすむ虫たちと生態系についての話があり、絵入りの資料を見ながら、子ども達も熱心に聞いていました。	
参加対象	一般市民	
参加人数	① かかし作り 7月10日(土) 一般参加者20名(大人8名、子ども12名)、スタッフ8名 7月24日(土) 手賀沼トラスト会員 74名 ② かかし祭り 一般参加者13名(大人7名、子ども6名)、スタッフ6名、会員125名	
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p data-bbox="359 1518 679 1568">ふわちゃんもいます。</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p data-bbox="1230 1458 1391 1507">できた！</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p data-bbox="183 1962 435 2011">生態系のお勉強</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p data-bbox="1305 1697 1374 1906">ワクチン接種！</p> </div> </div>		
参加者や実施団体の感想	<ul style="list-style-type: none"> *作り方を教えてもらったので簡単にできた。面白かった。 *去年はチューペットが食べられたのに・・・。 *外部参加者の部で入賞できた。うれしかった。 	

企画名	川や沼の水のよごれをはかってみよう！ぷりぷりせっけんを作ろう！	
実施団体	団体名 我孫子市石けん利用推進協議会 問合せ先 我孫子市消費生活センター TEL：04-7185-1469	
目的	・水の汚れ（COD）を測定し、未だに生活排水の影響が大きいことを知り、水が繰り返し使われることに気づく。分解性が良く環境にやさしい石けんを使うきっかけとする。	
日時	2021年7月17日（土）1回目 13:00～14:15、2回目 14:45～16:00	
プログラム・概要・ルート等	① 水の汚れの測定に COD 値が使用されることを知り、その測定方法を知る。水の汚れをパックテストで調べる。 ② オリジナルで作成した図「私たちの使う水はどこから来るの、どこへ流れていくの？」を使いながら排水について考える。 ③ 利根川の取水口、排水口を地図上にマグネットでプロットし、水が繰り返し使われていることを知る。 ④ 水を汚さない工夫を考える ⑤石けんと合成洗剤の違いを知る。 ⑥リサイクル石けんの意義を知り、ぷりぷり石けんを作る。 ⑦石けんによる手洗いが新型コロナ感染予防に有効であることを知る。	
参加対象	親子（5年生以上は単独参加可）	
参加人数	一般参加 29名（大人13名、小学生16名） 会員スタッフ 8名（協議会委員6名、市職員2名）、手伝い2名 計39名	
	 <p>パックテストを使って、手賀沼や川のよごれを調べる</p>	 <p>手賀沼ってこんなによごれていたんだね</p>
	 <p>利根川の上流から下流までたくさんの取水口と排水口が!!</p>	 <p>楽しくぷりぷり石けん作り</p>
参加者や実施団体の感想	【参加者の感想】 <ul style="list-style-type: none"> ・ぷりぷり石けんの作り方を知れてよかったです！楽しかった！ ・石けんは汚れなどが落ちてコロナ対策などでできてすごいなと思いました。 ・パックテスト等水質のことができて面白かったです。子どもも興味を持って聞いていてとても良かったです。 ・きれいな水を使う飲むことは、健康にもつながるので普段の生活から意識して汚水を出さないようにしたい。 	

<p>企画名</p>	<p>調べよう！～マイクロプラスチックはすぐそこに～</p>	
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子 我孫子市消費者の会 問合せ先 加藤マリ子 TEL: 04-7105-5292 Email:kato_mariko@jcom.zaq.ne.jp ホームページ: http://www.abikoshi-syouthisyanokai.net/wp/</p>	
<p>目的</p>	<p>5mm以下のマイクロプラスチックが身近にあることを体験し、関心を持ってもらう。</p>	
<p>日時</p>	<p>2021年10月2日(土) 13:30~15:30</p>	
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 私たちの暮らしは気づかぬうちに様々なプラスチック製品に囲まれていることに気づく。 ② プラスチックとは何かについて知る。 ③ 放置されたプラスチックごみは劣化し、マイクロプラスチックとなって身の回りにあり、生態系にも影響を及ぼしていることを知る。 ④ 採取された4地点(大堀川河口、手賀沼公園地先、検見川の浜、自宅の庭)の泥土に水を入れ、浮いてきたプラスチックごみを選別する。 ⑤ 選別されたマイクロプラスチックをルーペで観察し、元は何だったのか類推する。 ⑥ プラスチックに代わるものがあることを知る。 ⑦ マイクロプラスチックを生み出さないために自分でできることを「減プラ宣言」として書き、貼りだす。 *展示品を見て回る。 	
<p>参加対象</p>	<p>一般</p>	
<p>参加人数</p>	<p>一般参加16名(大人12名、幼児1名、小学3名) 会員スタッフ10名(会員7名、講師1名、手伝い2名)</p>	
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>泥土に水を入れ浮かせる</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>浮いたプラスチックをとる</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>検見川浜はマイクロプラが多い</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>講師の小倉久子さん</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>プラスチックの代替品を展示</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>みんなで「減プラ宣言」</p> </div> </div>		
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックとは何かということの詳細に聞くことができた。 ・セルロースたわし等、代替品を見ることができて良かった。友人にも勧めた。 ・手賀沼公園地先には結構目立つマイクロプラスチックがあったが、水に浮かないものも多かったのも元は何か今後検証することにする。検見川の浜は多かった。 ・洗濯した繊維からもマイクロプラスチックが出ていることを知り、衝撃だった。 ・自宅の周りを早速調べた。10か所もマイクロプラになりそうなものが見つかった。 	

<p>企画名</p>	<p>手賀沼水辺探検</p>		
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子市環境レンジャー 問合せ先 荻野 茂 TEL: 080-2386-3669 Email: ogino-s@rio.odn.ne.jp</p>		
<p>目的</p>	<p>親水事業は美しい手賀沼にするためにも欠かせない。子どもを対象に手賀沼の魚とりの見学や実践を行い、魚類等の生き物に触れ、知る体験の機会を提供する。</p>		
<p>日時</p>	<p>2021年10月3日(日) 13:00~15:00 手賀沼フィッシングセンター周辺</p>		
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>①今年もコロナウイルス感染防止対策のため、人数を制限して開催した。 募集定員を例年の半分以下とし、2班に分け、2基のテントを設営、班ごとにテーブル・水槽・飼育ケース・田舟、講師と世話係(スタッフ)を配置し、密を回避した。 ②事前に、漁師さんが捕獲した魚を各班の田舟に振分けした。 ③開始にあたり、広場で、スケジュール・注意事項の説明及び講師3名を紹介。 ④モンドリ(カゴ網)の使い方の指導後、各自モンドリを手賀沼棧橋付近に設置。 ⑤設置後に漁師さんの漁の説明を受け、実際に魚に触れたりして観察した。 ⑥モンドリを引き上げ、魚を仕分けし、獲った魚を観察し、説明を聞いた。 ⑦獲った魚は家で大切に育てる条件で子どもに渡し、特定外来種を除き沼に戻した。</p> <p>【確認した種】魚類21種 モツゴ、タモロコ、ツチフキ、ギンブナ、ヘラブナ(ゲンゴロウブナ)、ヌマチチブ、ハス、ニゴイ、ウグイ、メダカ、コウライギギ、ウナギ、コイ、ワタカ、ニシキゴイ、タイリクバラタナゴ、カムルチー(ライギョ)、ブラックバス、マナマズ、ブルーギル、アメリカナマズ</p> <p>甲殻類2種 スジエビ、テナガエビ 爬虫類2種 スッポン、ミシシippアカミミガメ</p>		
<p>参加対象</p>	<p>我孫子市民の親子</p>		
<p>参加人数</p>	<p>一般参加28名(大人14名、子ども14名)、会員スタッフ16名(会員:環境レンジャー7名、手水研9名)、講師3名、手伝い2名、手賀沼流域フォーラム1名 合計50名</p>		
	<p>講師からモンドリの仕組み、エサを入れて投込む場所等の説明を受けました。</p>		<p>大きなニホンウナギが捕れました。東京の相場を左右するほどの名産地でした。</p>
	<p>捕れた魚の説明、今回はコイ科が多かった。</p>		<p>マナマズとチャネルキャットフィッシュ。マナマズは酸欠に弱く現在は減少しています。</p>
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漁師さんから綺麗だった頃の手賀沼、最近の手賀沼についての説明を受けました。 ・モンドリの仕組みに興味を覚えた家族が、楽しそうに餌を入れ棧橋から投込みました。 ・子ども達は自分の獲った魚を観察ケースに入れ、熱心に楽しく聞き入り、カムルチーとブラックバスの口の中を見せてもらい、その鋭い歯に感嘆していました。 ・手賀沼水生生物研究会とのコラボ行事は、関係者の多大な支援があり成功裏に終了。 		

<p>企画名</p>	<p>川めぐりと木下の史跡散歩</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子の文化を守る会 問合せ先 齊藤清一 TEL:04-7183-9815 ホームページ: http://abikonobunka.sakura.ne.jp/</p>
<p>目的</p>	<p>船からの視察と史跡巡りで、手賀沼の現況を知り手賀沼環境保全を考える機会とする。</p>
<p>日時</p>	<p>2021年10月10日(日曜日) 12:45~15:30 集合: 印西市中央公民館(12:45)</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>印西中央公民館で参加者に本日の目的と流れを説明し、手賀沼の環境講和を行った。 【環境講話】 フォーラム事務局の「手賀沼生き物調査」レジュメ他を基にスタッフ及びフォーラム事務局担当者が説明しました。総計約20分 【川めぐり】 印西観光協会の説明で、10名ずつ2艘に乗船し、手賀沼の現況を船から見学。 ルート: 弁天川 → 手賀川 → 下手賀川 → 手賀川 → 六軒川の4川めぐり 約60分 【木下の史跡散策】 印西ふるさと案内人協会の協力により、木下河岸の歴史や地域の文化、上町観音堂と木下貝層の説明を受けました。 ルート: 中央公民館前 → 木下駅北口 → 上町観音堂(堂内の厨子には銅造十一面観音立像安置) → 木下貝層 → 木下駅解散 約70分</p>
<p>参加対象</p>	<p>我孫子市民及び近隣自治体市民</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加:18名(大人18名) 会員スタッフ:3名、手賀沼流域フォーラム事務局:1名</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>川巡りの開始</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>棲みついたコブハクチョウ</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>船を降り、乗船場での参加者集合写真</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>木下貝層は、貝塚ではないとの説明。→</p> </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>【参加者の感想】 手賀沼の説明も初めてでとても良かった。史跡巡りはもう少し説明が欲しかった。外来生物を間近で見て、手賀沼の抱えている問題点に目を向ける重要性を感じた。 【スタッフの感想】 日曜日は、手賀排水機場が休務日でガイド出来なく、手賀沼の水害史の上で重要で、日程設定の検討を要す。環境講和は、短時間でも資料が揃っていて分かり易かった。</p>

企画名	手賀沼賞 エコ・こども教室	
実施団体	団体名 我孫子市環境レンジャー 問合せ先 荻野 茂 TEL: 080-2386-3669 Email: ogino-s@rio.odn.ne.jp	
目的	教育委員会学校指導課主催の「科学作品展」で「手賀沼賞」を受賞された作品から、環境レンジャーが選定した作品を発表する公開教室を、例年開催してきました。しかし、今年度はコロナ禍での安全対策として、発表会を止め作品概要のパネル展示により、多くの市民に公開しました。	
日時	2021年10月2日(土)～17日(日) 9:30～15:00 アビスタ ストリート、水の館 3F 2021年10月2日(土)～17日(日)あびっ子ネットホームページ「子どもまつり」	
プログラム・概要・ルート等	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度我孫子市教育委員会主催の科学作品展で選ばれた手賀沼賞受賞者11人、その中から5作品を発表作品として選び、研究概要をA1版パネルにして、アビスタ ストリートと手賀沼親水広場 水の館に展示しました。 「第26回あびっ子どもまつり 2021」実行委員会主催のオンラインでの発表に参加し、環境レンジャー選定の5作品の概要パネルを掲載しました。 多くの市民の方々に、生徒が取り組んだ研究内容を知っていただくことで、我孫子や手賀沼の自然や環境への理解、エコロジーを拡げることを目指しました。 手賀沼賞の5作品は、作者の在籍する学校で展示し、全校生徒に見ていただきます。	
参加対象	小中学校の児童生徒ならびに一般市民の方々	
参加人数	水の館 3F 来場者 466人、子どもまつりオンラインアクセス数 60件/1311件 アビスタ 1F ストリートの来場者は不明	
		
		
参加者や実施団体の感想	<ul style="list-style-type: none"> 手賀沼賞受賞者の生徒から、「コロナ禍で研究発表会の機会が無く残念だったが、作品概要をWebで配信したのをおおぜいの友達に見てもらえた。」とのコメントがありました。 2か所のパネル展示場で多くの市民の方々に見ていただくことができました。オンラインでの作品パネル掲載に協力していただいた「第26回あびっ子どもまつり 2021」実行委員会に感謝いたします。 	